

道修町ミュージアムストリートを歩こう(ご案内)

担当 6 班

豊臣秀吉の町割りにより薬の町として始まった道修町

江戸時代には清やオランダから薬を一手に扱う「薬種仲介仲間」が店を出し

全国に流通したという歴史ある場所 今でも 300mの間に連なっている大手薬品会社の一部を見学します。



- 【日時】 12月20日(金) 午前中 (少雨 決行)
中止の場合は前日 20 時までにそらメールでお知らせします
- 【集合時間】 午前 9 : 50 分
- 【集合場所】 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅⑧番出口地上 日本生命本社ビル前
- 【費用】 適塾団体入館料 140 円はそら組負担
- 【持ち物】 飲み物
- 【行程】 当日 4 グループに分かれ約 1 kmの道修町通りを見学し 終了後忘年会々場へ
- 【出欠確認】 午前・午後(忘年会) 各々の参加者数を 11/29 日(金) までに 6 班木谷班長までご連絡下さい。

主な見学地

- ◆ 少彦名神社
中国医学の祖 神農氏と和薬種の増加に伴い日本の薬の神様少彦名命を合禱したので神農さんとよばれている。病氣平癒・健康を願う大阪の薬の神様です。
- ◆ くすりの道修町資料館
館内には色々な資料 パネルが展示され大型モニターで江戸時代からの歴史を見ることができる。
- ◆ 武田科学振興財団 杏雨書屋
杏雨とは杏林(医学会)を潤す雨の意味で 5 代武田長兵衛が私財を投じ形成し医学・薬学の古典籍 掛け軸 道具類等を展示
- ◆ 田辺三菱製薬資料館
1678 年の創業から現在までの歩みをガイドさんの説明と映像で学びます。
- ◆ 塩野義製薬展示コーナー
二代塩野義三郎が収集した江戸～明治時代の「絵ビラ」や「引き札」が展示されている
近代広告としての価値とともに美術品として評価が高い
- ◆ 適塾(国史跡 重要文化財)
日本で唯一の蘭学塾の遺構
緒方洪庵が 1838 年に開いた私塾で 1000 人を超える門下生が勉学に励み西洋医学の研究をはじめ
福沢諭吉、大村益次郎、橋本佐内ら多くの英才が育てられた。

